

芳川の里の後援会

「いきいき会」について

「芳川の里」は「老人ホームをつくる会」が母体となってできました。その「つくる会」を引き継いだのが芳川の里後援組織「いきいき会」です。

いきいき会は、お年寄りの皆さんが自分らしく安心して過ごせる居場所作りのお手伝いをしています。

ここ数年はコロナウイルスの影響で活動を制限せざるを得ない状況が続いておりましたが、これまで、喫茶スペースの運営や花壇の手入れなどの他、講演会を開催したり、イベントのお手伝いをしたり、バザーを開催して財政的支援を行ったりしてきました。

地域には、高齢者の介護・生活に関する様々な困難に直面している方々が大勢おられます。

芳川の里がそういった福祉の助けが必要な地域の方々と共に歩んでいくためには後援会「いきいき会」の役割が非常に重要です。

皆さまにも、是非いきいき会に加わっていただき、一緒に活動していただけたら嬉しく思います。



職員インタビュー

今回の職員インタビューは芳川の里 看護主任の鈴木美恵子さんにお話を伺いました。



芳川の里を選んだ理由を教えてください？

A 引越しを機に、近隣で仕事を探していたところ募集があり見学にきました。それまで急性期の病院で日々緊迫、緊張しながら働いていたのと対照的に、施設という場所が温かく、入居者様お一人お一人とゆつくり向き合えると感じ、働いてみようと思いました。

現在の仕事内容を教えてください？

A 入居者様の生活の場としての健康管理が中心の業務です。毎日の健康観察、状態変化の対応や予防、また、嘱託医や往診委の診察補助も行っていきます。現在は感染対策を重点的に、他、看取りにも取り組んでいます。

楽しみや趣味を教えてください。

A 小旅行やヨガが好きです(コロナで満足にできていませんでしたが...)。

去年初孫が生まれたので、一緒に遊ぶことも楽しみの一つです。



芳川の里 看護主任

鈴木 美恵子

A型